

電力会社と電気工事業者との連携

電気事業連合会

災害時の円滑・迅速な工事力確保について

- 「第3回電気保安人材・技術WG」での課題提起を受け、**全日本電気工事業工業組合連合会殿と協議を行い、具体的な災害復旧における役割分担・協力の明確化を図る事項等について、連携の方向性を確認・整理**しました。
- これに基づき、今夏の台風シーズン前までに、電力各社にて迅速な災害復旧に資する連携強化に向け、各電気工事組合等と協議を進めています。
- **災害時の円滑・迅速な工事力確保に向け、引き続き連携強化を図ってまいります。**

■ 災害時の各電力と電気工事組合との連携の方向性

協定締結単位	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各地域ブロック単位※ ✓ ただし、各電力の現状の協定状況等を勘案し都道府県単位の電気工事組合との協定締結でも可能とする。
協定締結方法	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現状締結している契約や協定の条文に災害時連携を追記する。 記載例) § 災害時連携 暴風時、洪水、雪害、地震その他の事由により、発注者の工事目的物以外の電気工作物が甚だしい損害を被った場合または被る恐れのある場合は、受注者は、発注者の要請により直ちに出勤または待機する。なお、業務範囲は別途定める「〇〇」によるものとする。
協定する業務範囲	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基本は引込工事と宅内調査を想定。発注業務範囲は各電力と電気工事組合との協議による。

※：地域ブロック単位とは、各電力の供給エリアを統括する電気工事組合の組織を指す

【参考】各電力会社と電気工事組合との協議状況

■各電力と電気工事組合との協議・協定状況

	災害時協力契約の協議状況		
	ブロック単位	県工組単位	備考
北海道	組織なし	○	✓ 各県工事組合と契約済
東北	要望なし 協議継続	一部○	【地域ブロック単位の協議状況】 ✓ 工事組合側が現状の組織体制では対応困難であり、現時点で要望なし 【都道府県電気工事組合単位の協議状況】 ✓ 青森、岩手、山形、福島では県工組単位での体制整備が困難（継続協議）
東京	5月締結予定 協議中	協議中	✓ 地域ブロック単位は5月締結予定。 ✓ 各県工組については、地域ブロック単位の締結内容を踏まえ協議中
中部	-	○	✓ 各県工事組合との契約はないが、県単位の電気工事協力会 [*] と契約有
北陸	-	○	✓ 各県工事組合と契約済
関西	○	○	✓ 地域ブロック単位は防災協定を締結。4月調印。 ✓ 関西電気工事工業会と現行スキルで対応可能な作業（引込線の仮処置等）の実施について契約締結（12月）
中国	-	○	✓ 各県工事組合と契約済
四国	○	-	✓ 地域ブロックで契約済
九州	○	-	✓ 地域ブロックで契約済
沖縄	組織なし	○	✓ 各県工事組合と契約済

● 災害時の連携業務については、各工事組合のスキルに応じた範囲で実施

※：静岡、愛知、岐阜、三重、長野の各県に設置され、お客さまの電気設備工事に伴う引込線工事等を実施する電気工事店の組織